

平成10年度
手話通訳者（士）養成講座
実施報告書



秦野市聴覚障害者協会

1999.3.25 提出

目次

1 . 序文 -----	1
2 . 受講生名簿 -----	2
3 . 出欠状況一覧 -----	2
4 . 手話通訳試験受験状況 -----	2
5 . 年間スケジュール -----	3
6 . 講座実施日一覧 -----	4
7 . カリキュラム説明 -----	5
8 . 講座実施報告 -----	6

付録

- 1 . 手話通訳者（士）養成講座規約

1 . 序文

手話通訳者（士）養成講座は、平成9年度から秦野市聴覚障害者協会と秦野市手話通訳者が合同で、手話通訳者を増やす目的で行っている。

カリキュラムは、神奈川ろうあセンターの「手話通訳者試験」および厚生省認定の「手話通訳士試験」の試験内容を意識して作成した。

ろう者の福祉向上・権利向上のためには、手話通訳者はなくてはならない存在である。手話通訳者の養成を手話サークルに期待し、手話通訳者（士）を目指す人の手話技術の向上を個人の努力にのみ依存するには限界があるのを感じたのがこの「手話通訳者（士）養成講座」を始めた動機である。

幸いにもこれらの主旨を市福祉課へ理解頂き、平成10年度は秦野市からこの手話養成講座へ委託金がでる運びとなった。これまで、手弁当で手話通訳者（士）の養成にあたってきた人たちにとっては、大きな朗報となった。ここに感謝の意を表わす次第です。

平成10年度の手話通訳者（士）養成講座実施報告書をここに提出します。

2. 受講生名簿

本年度受講生：7名

No.	氏名	〒	住所
1	生川 玲子	259-1317	秦野市
2	北村 冷子	258-0019	足柄上郡大井町
3	永島 優子	259-1134	伊勢原市
4	眞館 光江	257-0031	秦野市
5	福田 元子	259-1143	伊勢原市
6	小寺 通代	259-1115	伊勢原市
7	一力 敏恵	259-1115	伊勢原市

3. 出欠状況一覧

	講座	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
No.	氏名	4/6	4/20	5/11	5/18	6/1	6/15	7/6	7/13	8/3	8/17	9/7	9/14	9/28	10/5	10/19	10/26	11/9	11/16	11/23	11/30	出席回数
1	生川 玲子																					20
2	北村 冷子																					20
3	永島 優子									x				x		x						17
4	眞館 光江									x												19
5	福田 元子																					20
6	小寺 通代				x						x			x								17
7	一力 敏恵		x								x						x					17
	出席者数	7	6	7	6	7	7	7	7	5	5	7	7	7	5	7	5	7	7	7	7	

4. 通訳試験受験状況

No.	氏名	神奈川県手話通訳者試験	手話通訳士試験
1	生川 玲子	受けてない(実践コース)	受けてない
2	北村 冷子	受けてない(実践コース)	2次試験まで受けた
3	永島 優子	受験した(養成コース)	受けてない
4	眞館 光江	受験しなかった(養成コース)	2次試験まで受けた
5	福田 元子	受験した(養成コース)	受験した
6	小寺 通代	受験した(養成コース)	受けてない
7	一力 敏恵	受けてない	受けてない

(注)神奈川県手話通訳者試験は、事前にろうあセンターの手話通訳者養成コースに合格しないと受験できない。

実践コースの合格者は、次年度に養成コースの試験をうけ、合格したら、受験資格が生じる。

5 . 年間スケジュール

「手話通訳者(士)養成講座」は、4月から11月までの間に実施している。
準備も含めて、下記のスケジュールで実施した。

平成 10年	2月	平成10年度 手話通訳者(士)養成講座の募集案内を配布 (配布先:秦野市聴覚障害者協会会員、手話サークル)	
	3月	平成10年度 手話通訳者(士)養成講座申込み者面接 (秦野市聴覚障害者協会役員が実施)	
	4月	手話通訳者(士)養成講座(全20回)	
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		10/4 手話通訳士試験(1次試験)
	11月		11/29 手話通訳士試験(2次試験)
	12月	12/5 神奈川県手話通訳者試験	
	反省、来年度打合せ(月1回)		
平成 11年	1月	反省、来年度打合せ(月1回)	
	2月	反省、来年度打合せ(月1回) 平成11年度 手話通訳者(士)養成講座の募集案内を配布 (配布先:秦野市聴覚障害者協会会員、手話サークル)	
	3月	反省、来年度打合せ(月1回) 平成11年度 手話通訳者(士)養成講座申込み者面接	

6 . 養成講座実施日一覧

場所： 福祉会館（和室） 講座 18:30～20:00（反省会 20:00～20:30）

保健福祉センター

年	テーマ	月	日	担当者	講師		通訳	テ-プ 担当	内容	
									読	聞
平成 10年	自己紹介	4	6(月)	蔵原、桐生	亀山	成川		柄沢		
			20(月)	原	千田	長南	成川			
	趣味	5	11(月)	亀山	長根八千代	柄沢		石渡		
			18(月)	嵩	田中聡	石渡	長南		成川	
	ろう 学校	6	1(月)	嵩	橘川	成川	柄沢			
			15(月)	千田	坂本	長南		石渡		
	労働	7	6(月)	蔵原	嵩良美	柄沢	成川			
			13(月)	蔵原	千田	石渡		長南		
	ニューメ ディア	8	3(月)	千田	嵩	成川		長南		
			17(月)	千田	原	長南	石渡			
	福祉度	9	7(月)	亀山	嵩	柄沢		長南		
			14(月)	原	嵩良美	成川	石渡			
			28(月)	桐生	大津	長南	石渡			
	ろうあ 運動	10	5(月)	嵩	亀山	石渡	成川			
			19(月)	原	山野	成川	柄沢			
			26(月)	蔵原	亀山	石渡		長南		
今年の ニュース	11	9(月)	蔵原	坂本	柄沢	成川				
		16(月)	蔵原	橘川	長南		柄沢			
		23(月)	桐生	原	成川	石渡				
		30(月)	蔵原	亀山	長南	石渡				

講師

講師は指導経験豊富なろう者講師と手話通訳者が2人一組で担当する。ろう者講師は生きた手話を表すことができると同時に手話通訳を受けている立場を元に指導し、手話通訳者は実際に通訳を担っている経験をもとに指導する。

打ち合わせ、反省会

1回の講義のためにろう者講師と手話通訳者とで事前に2～3回の打ち合わせを行う。

7. カリキュラム内容説明

講座カリキュラムは、神奈川県ろうあセンターが行う「神奈川県手話通訳者試験」、および厚生大臣認定の「手話通訳士試験」の試験内容に合わせ行っている。

1. 講座種別

(1) 聞き取り通訳

(2) 読み取り通訳

2. 講座の進め方

講座は、ろうあ者講師 1 名、健聴者の講師 1 名で行っている。

「読み取り通訳」の講座の時は、別に手話通訳者が 1 名つき、受講生の読み取った内容(音声語)を手話で、ろうあ者講師に伝える。

表 講座種別の説明

No.	種別	内容
1	聞き取り通訳	<p>講師が予め日本語の文をカセットテープへ吹き込んでおく。 受講生は、カセットテープの内容を聞き手話に変換する。 講師二人が、受講生の手話をチェックする。</p> <p>聞き取り通訳時のビデオ撮り： 昨年度の反省会で、受講生から聞き取りの時の自分の手話をビデオでみてチェックしたいとの声があった。平成 10 年度は、3 回実施した。</p>
	使用教材・機材	<ul style="list-style-type: none"> ・「テーマ」別に、日本語（音声語）を吹き込んだテープ ・カセットデッキ、ビデオカメラとモニター（ビデオ撮りのとき）
2	読み取り通訳	<p>講師が予め、ろう者の手話をビデオテープに録画しておく。 受講生は、ビデオを見てそれを音声日本語に変換する。 講師二人が、受講生が正しく手話を読み取っているかチェックする。 ろう者の講師には、手話通訳がついており、受講生の読み取った内容を通訳する。</p>
	使用教材・機材	<ul style="list-style-type: none"> ・「テーマ」別に、ろう者の手話を撮ったビデオテープ ・ビデオデッキ、モニター

8. 講座実施報告

講座 1 実施報告

			担当者 蔵原, 桐生	
日時	4月6日(月) PM6時45分~8時45分	講師 亀山, 成川	通訳者	
テーマ	聞き取り「自己紹介」	出席数	7名	欠席数 0名
ねらい				テープ 担当 柄沢
	時間	学習内容及び指導方法	指導上の留意点	備考
	6:45	テープを聞きながら手話表現 それをビデオ撮り		
		北村 福田 生川 小寺 永島 真館 一力		
	7:10	・VTR 一人ずつみて各自感想		
	7:30	再度ビデオ撮り		
	7:50	感想		
	8:15	終了		
反省 評価	8:15 - 8:45 反省会			
	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の反省会にでたビデオ撮りを実施 ・今年は、3回(4/6、7/13、11/16)予定 ・受講生の要望を取り入れ、文章を多くし、3種用意したが、文章が長すぎて時間が超過してしまっ。4分、4分、2分 2分×3種が良いかも ・全体的に手話が見づらい ・文章が難しかったのか、技術が落ちたように思う ・8月のテーマ「ニューメディア」は嵩さんがインターネットの話をする ・今回収録したビデオは受講者に貸し出しする ・日聴紙について話した 			
確認事項				

講座 2 実施報告

				担当者 原	
日時	4月20日(月)PM6時30分~9時00分		講師 千田、長南		通訳者 成川
テーマ	読み取り「自己紹介」		出席数	6名	欠席数 1名
ねらい					テープ担当 -
	時間	学習内容及び指導方法	指導上の留意点		備考
	6:30	猪熊さんのビデオ使用 ・3つに区切って読みとってもらう 生川 北村 永島	読み取るとき、録音テープに録音してもらう		
	6:40	・録音したものを聞きながら、 について解説する	読みとって日本語に換える難しさを実感してもらう		
	6:55	説明後、もう一度、 みとってもらう	日本語を正確に読み取る		
		質問、休息			
	7:10	千田さんのビデオ(3'40")使用 真館 小寺 福田			
	7:30	録音したものを聞きながら 、 について解説する			
	8:20	皆で一回読んでもらう			
	8:25	宿題のビデオを流す 個人個人の録音テープに録音してもらう	県の手話通訳者の試験がビデオを読み取り、自分でテープを起こすという方法なので、これに慣れるため。		
	8:30	終了			
反省 評価	8:30-9:00 反省会				
	<ul style="list-style-type: none"> ・録音テープに読みとってもらうことで、本人は読みとっているつもりでも、いかに読み取れていないかの確認ができてよかった。 ・画面に合わせて、テープを調整していたが、時間がかかるので、通して録音したものを聞き、あとで、解説する方法にかえた ・宿題として、テープおこしたものを送ってもらい添削したが、読み取れないところをどうするか考えていく必要があると感じた。作文化してしまうことなど含めて考慮する必要。 				
確認事項					

講座3 実施報告

				担当者 亀山	
日時	5月11日(月) PM6時30分~8時45分		講師 長根(八)、柄沢		通訳者
テーマ	聞き取り「趣味」		出席数	7名	欠席数 0名
ねらい					テーブル担当 石渡
	時間	学習内容及び指導方法	指導上の留意点		備考
	6:40	・聞き取り スポーツ 一カ 小寺 生川 就職 福田 永島 真館 北村			
	7:00	・スポーツを3人に表現してもらう ・一人ずつ落ちたところを説明			
	7:10	スポーツの表現について質問うける			
	8:00	表現(就職)3人 一人ずつ落ちたところを説明 ・就職について文章を配る、質問を受ける			
		表現(就職) 長根さんに全体の説明、解説をしてもらう			
	8:00	終了			
反省 評価	8:00 - 8:45 反省会				
	<ul style="list-style-type: none"> ・録音状態が悪く聞き取りにくかった 録音のためにマイクを購入する ・手話を日本語(表記)したものをまた手話に戻す。この時に、文章の単語にこだわりすぎた。 ・普段使う手話でなく健聴者に合わせた ・手話を使う(教える) 「いつものままで」表してもらう。自分の手話でよいのだとろう者の皆にわかってもらう。 ・正解の手話表現ビデオを欲しいと言われた 「正解」ではなく「参考」。できれば、担当したろう者のビデオが(表現)とれたら良いと思う。 次回(又は6/1)までに「参考」のビデオを用意する。 				
確認事項					

講座 4 実施報告

				担当者 嵩	
日時	5月18日(月)PM6時30分~8時40分		講師 田中聡、石渡		通訳者 長南
テーマ	読み取り「趣味」		出席数	6名	欠席数 1名
ねらい					テープ担当 成川
	時間	学習内容及び指導方法	指導上の留意点		備考
	6:30	田中さんのビデオを使用 ・7つに区切って読みとってもらう			
		1.1回目読む。録音したものを聞く。 2.2回目読む。録音したものを聞く。	田中さん指導 石渡アドバイス		
		1回目 1.永島 一力 2.生川 北村 3.北村 永島 4.真舘 生川 5.福田 6.北村 真舘 7.一力 福田	1回目 田中さんの手話が早いこともあって2-7人は、ほとんどの人が読めなかった。 2回目 状況手話を日本語に変えるのに、適当な日本語がでてこない。		
		質問, 休息			
	7:45	ホノルルマラソンに参加した時の記念品を見せてもらう。 全部通して全員に自分のテープに読み取る。			
	8:05	受講者からの要望という形で、嵩さんより「最後に模範を見せて欲しい」とあった。			
	8:10	終了			
反省 評価	8:10-8:40 反省会				
	<ul style="list-style-type: none"> ・手取り足取りやってあげすぎるのも問題ではないか? ・模範というのには、チョット抵抗がある。 ・ろう者と一緒に担当しているのでろう者の手話表現を見て欲しい。 ・今日のテーマに合うビデオは、一本しかなく選んで使うという事ができなかった。 ・もっとたくさんのビデオを用意して、何度を選べるようにして欲しい。 				
確認事項					

講座5 実施報告

				担当者 嵩	
日時	6月1日(月)PM6時30分~8時30分	講師 橘川、成川		通訳者 柄沢	
テーマ	読み取り「ろう学校」	出席数	7名	欠席数	0名
ねらい				テープ担当	
	時間	学習内容及び指導方法	指導上の留意点		備考
	6:30	亀山さんのビデオを使用 5'30"のテープと7分割して、各々単語読み、日本語読みを続ける ・分割ごとに読み落とし、間違い部分をビデオを再生しながら確認			
		1回目 1.小寺 2.真館 3.福田 4.北村 5.生川 6.一力 7.永島			
	7:50	最初から通して一斉に読み取る			
	8:00	終了			
反省 評価	8:00 8:30 反省会 ・ビデオテープの収録時間が長いので、2本使用は無理かと思えたが、一応用意した。1. 亀山(5'30")、2. 橘川(4') ・時間的に余裕があれば、2本とも同じ方法で学習する予定だったが1本のみで時間切れ。 ・読み落とし、間違いが多い(橘川) ・まだまだ受験資格には程遠い(橘川) ・亀山さんの手話は見慣れているが読み取りは難しく、声に頼っていたこと実感出来たと思う ・前回読み取り公衆の時の受講生の要望を考慮し一人一人が納得できるまでチェックを徹底した。 ・ろう教育についての知識がないと状況手話の読み取りが難しいことを理解したと思う。				
確認事項					

講座 6 実施報告

				担当者 千田	
日時	6月15日(月)PM6時30分~8時45分		講師 坂本、長南		通訳者
テーマ	聞き取り「労働」		出席数	7名	欠席数 0名
ねらい					テーブル担当 石渡
	時間	学習内容及び指導方法	指導上の留意点		備考
	6:30	<p>・坂本さんの体験談 ビデオ撮り 生川 ’ 福田 一力 ’ 小寺</p> <p>坂本さんの体験談の文章を2つに分け、ビデオ撮り、後半の福田さん、小寺さんは外で待機してもらう。 言葉は難しいものがあるが内容は比較的簡単。正しく、表現できているかどうかを見る。</p>			
		<p>・黒田清(ジャーナリスト)氏の「マスコミと障害者雇用」 永島 ’ 真舘 北村 ’ 小寺</p> <p>内容が難しく、表現方法の工夫が必要</p>			
	7:00	ビデオを見ながら文章の説明 個々の表現感想			
	8:15	終了			
反省 評価	8:15 - 8:45 反省会				
	<ul style="list-style-type: none"> ・受講生の手話表現の欠点を見るためのビデオ撮りか、表現方法を見るためのものか、目的をはっきり決めて、文章を考えるべきだったと思う。 ・時間が足りなくて、十分な説明ができず、特に真舘さんのビデオ表現を見る時間がなかったので、後程コメントを添える必要があった。 ・普段あまり聞き慣れていない内容をどのように表現できるかを見る目的で文章を作成したので、いつもはスムーズに表現できる人があたふたしていたように思う。 ・表現担当の人(ろう者)は、日常生活の中で手話表現を実際使用しながら生活している人にして欲しい。 				
確認事項					

講座 7 実施報告

				担当者 蔵原	
日時	7月6日(月) PM6時30分~8時30分		講師 嵩(良)、柄沢		通訳者 成川
テーマ	読み取り「職業」		出席数	7名	欠席数 0名
ねらい					テープ 担当
	時間	学習内容及び指導方法	指導上の留意点		備考
	6:30	橘川妙子さんのビデオを使用 ・6'のテープ ・一人に二回ずつまわるようにして、 一回の文は短めにした			
		始めに単語、次に文書にしてもらう 1. 福田 2. 永島 3. 真館 4. 小寺 5. 一力 6. 生川 7. 北村	単語、文章が終わったところで一人ずつ、チェックしていく。 ひっかかったところは、巻き戻して見た。		
	休憩				
		8. 北村、生川 9. 真館 10. 永島 11. 福田 12. 一力	手話がとても良いが、そのぶん文章に変えるのが難しい。 長くしないで集中してもらいたいということで一人ずつ、短めにしたがだまっただまま終わってしまう人もいた。		
	8:00	終了			
反省 評価	8:00 - 8:30 反省会				
	<ul style="list-style-type: none"> ・手話表現にくり返しが多いため、あわてて全部読まないこと ・日本語に変えるのが難しそうだった ・良い手話だった、こういうビデオを増やして欲しい ・テープが長いので、全部終わらせようとして早く進めすぎてしまった 				
確認事項					

講座 8 実施報告

				担当者 蔵原	
日時	7月13日(月) PM6時30分~8時40分		講師 千田、石渡		通訳者
テーマ	聞き取り「ろう学校」		出席数	7名	欠席数 0名
ねらい				テープ担当 長南	
	時間	学習内容及び指導方法	指導上の留意点		備考
	6:30	・山野さん「ろう学校の思い出」 一力 2'10" '小寺 1'20" 福田 3'15" おちた所をそれぞれに説明 - 千田 皆でテープを聞きながら手話表現 気がついた事をアドバイス			
	7:00	山野さんに今日の文章以外の行の発語訓練の方法を話してもらう			
	7:10	通訳士情報の針山氏の文章(C,D) 永島 C 1'30" 生川 D 1'30" 北村 C,D 2'50" 千田さんから説明 皆で一緒に表現 石渡から一言			
	7:45	番外(プリントなし) 真館さんに E(C,Dの続き) 1'15"			
	8:00	皆で一緒に			
	8:10	終了			
反省 評価	8:10 - 8:40 反省会				
	<ul style="list-style-type: none"> ・手話を見ながらチェックしていくのが難しい ・山野さんに具体的に発語訓練の方法を説明して頂けて良かった ・今日のは、内容的には皆が知っている内容だったので落ち着いて表現できていた 				
確認事項					

講座 9 実施報告

				担当者 千田	
日時	8月03日(月)PM6時30分~8時30分		講師 嵩(賢)、成川		通訳者
テーマ	聞き取り「ニューメディア」		出席数	5名	欠席数 2名
ねらい					テープ担当 長南
	時間	学習内容及び指導方法	指導上の留意点		備考
	6:30	<ul style="list-style-type: none"> 各々表現する人イヤホン使用 「インターネット」北村 2'50 生川 2' 「マイレージサービス」一カ 2' 「メディア多様化」小寺 1'50 表現の違い、聞き間違いなどチェック解説 - 嵩、成川			
	7:20	チェック項目を留意し、テープは音声を表に出し、受講者全員にも聞こえるようにし、再度表現。 「インターネット」北村 「マイレージサービス」一カ 「メディア多様化」小寺			
		再度、表現チェック 嵩、成川			
	8:00	終了			
反省 評価	8:00 - 8:30 反省会				
	<ul style="list-style-type: none"> 自分で書いたものなのに手話を見ていてわからない 通訳現場でも度々経験することですが、通訳者が理解出来ない情報を伝える時の難しさ、通訳者は浅く広い知識の習得が必要であることわかってもらえたかと思う 考えながらの通訳は相手に不安を与えてしまう 				
確認事項					

講座 10 実施報告

			担当者 千田	
日時	8月17日(月)PM6時30分~8時30分	講師 原(和),長南		通訳者 石渡
テーマ	読み取り「テレビ番組」	出席数	5名	欠席数 2名
ねらい				テーブル担当
	時間	学習内容及び指導方法	指導上の留意点	備考
	6:30	・説明	日本語通りの手話なので,口話をよく見るようにと説明	
	6:35	「自動車」 読みとり 生川		
	6:50	説明 原 読みとり 永島		
	7:05	説明 原 生川,永島	通して読む	
	休憩			
	7:20	「電波少年と巨人ファン」 読みとり 北村		
	7:30	説明 原 読みとり 真館		
	7:40	説明 原 北村,真館	通して読む	
	7:50	ドロonzの旅について,通して読みとってもらう		
	8:00	終了		
反省 評価	8:00-8:30 反省会			
	<ul style="list-style-type: none"> ・原さんがあがってしまって手話を間違えてしまった。手話にくせがあった(原さんの手話なので良いと思う)。 ・口話を読みとっていないと思う。 ・“口バ”を“やぎ”と読みとり,話が最後までずれてしまった。 ・“ガソリンを食う”など口話を見ると話しているが「燃費がかかる」と言い換えた方がよい時もある(原さんが担当したので“ガソリンを食う”にした。 			
確認事項				

講座 1 1 実施報告

				担当者 亀山	
日時	9月07日(月)PM6時30分~8時30分		講師 嵩(賢)、柄沢		通訳者
テーマ	聞き取り「福祉制度」		出席数	7名	欠席数 0名
ねらい					テーブル担当 長南
	時間	学習内容及び指導方法	指導上の留意点		備考
	6:35	<ul style="list-style-type: none"> ・「ゆり」に載った投書 1. 真舘さん 2. 福田さん 3. 生川さん(全文) 文章を配って質問			
	7:05	第45回青森の全国ろう者大会の大会宣言 <ul style="list-style-type: none"> 1. 永島さん 2. 小寺さん 3. 一力さん 			
		北村さん 真舘さん			
	8:00	終了			
反省 評価	8:00-8:30 反省会				
	<ul style="list-style-type: none"> ・今年全国大会の「大会宣言」でもあるし、今日聴紙などでとり上げられているので(単語の列挙でとまどったのかもしれないが)、皆が知っていると思って教材にしたが、「初めて聞いた」「聞き取れない」という意見が多かった。できる限り、ゆっくり間をあけたつもりだったが「知らない単語」が出てくるとあわててしまって、次が聞こえない。もっと、紙面(ゆり、日聴紙)をチェックしておかないと面接の時など困ると思いました。 ・単語は難しいが、面接ではこういう内容もできるかもしれないので、「こういう単語は知らない」というとちょっと困るかなと思う。 ・こういう単語は、一回やっておく(内容として、手話として)覚え得手おく必要があると思う。 				
確認事項					

講座 1 2 実施報告

				担当者 原	
日時	9月14日(月)PM6時30分~8時50分		講師 嵩(良)、成川		通訳者 石渡
テーマ	読み取り「福祉制度」		出席数	7名	欠席数 0名
ねらい					テーブル 担当
	時間	学習内容及び指導方法	指導上の留意点		備考
	6:30	・ビデオ流し読み(江島氏) 手話表現が早く映像も小さいので、まずは全体の話の内容を把握することを目的とする	真舘 福田 小寺 各々終了後嵩さんよりコメント		
	6:45	単語読み 早い表現ではあるが単語を見落とすことなく読むことを目的とする	北村 生川 永島 一力 各々終了後、成川コメント		
	7:00	質疑応答 最初から通してビデオ各々声を出し読む			
	7:25	休憩			
	7:30	ビデオ(堀内氏)単語読み	一力 永島 生川 各々終了後、生川コメント		
	7:40	流し読み	小寺 福田 北村 真舘 各々終了後嵩さんよりコメント		
	7:50	質疑応答 最初から通してビデオ各々声出して読む			
	8:10	成川「まとめ、読みとり」			
	8:15	終了			
反省 評価	8:15 - 8:50				
	<ul style="list-style-type: none"> ・江島さんのビデオ映像が小さかった ・無駄のない話し方なので1箇所、見落とすとその後全くのお手上げ状態となってしまう ・難しいビデオなので時間配分を長めにしたつもりでしたが、まだ足りませんでした ・堀内さんのビデオ、大きく分かりやすい手話表現だと思っていましたが、読みとりとなるとなかなか声に出せない様子でした ・ビデオ体験談共に健聴者の方々も一緒に考えて頂きたい課題です 				
確認事項					

講座 13 実施報告

				担当者 桐生	
日時	9月28日(月)PM6時30分~8時45分		講師 大津、長南		通訳者 石渡
テーマ	読みとり「福祉制度」		出席数	7名	欠席数 0名
ねらい					テーブル担当
	時間	学習内容及び指導方法	指導上の留意点		備考
	6:30	・ビデオ流し読み(江島氏) ねらい:内容は難しいので大まかによみとれればよしとする 1~5までに区切って読みとる。受講者の出席者が四人だけなので交代で読む	大津さんが説明		
	6:45	単語読み 日本語に代えるのが難しい手話表現が多かった			
	6:55	区切って長南が解説 質疑応答			
	7:20	全体で声を出して読む 休息			
	7:25	ビデオ(川口正夫氏)流し読み(1'50") 2箇所区切って読みとる			
	7:35	単語読み 同じ人が読みとる			
	7:40	全体で声を出して読む			
	7:45	長南 川口ビデオ 村山ビデオ読みとる			
	8:00	終了			
反省 評価	8:00-8:45 反省会				
	<ul style="list-style-type: none"> ・大津さんがビデオデッキを持っていなかったため、2回しかビデオを見る機会がなく、指導するのは気の毒だと思った(長南)。 ・今日は風邪、上半期末などで欠席者が多く残念でした。 ・人数が少ないと内容が充実しすぎ、間が少ないため指導する立場では非常に疲れた。村山さんのビデオも長すぎたように思う。 				
確認事項					

講座 1 4 実施報告

				担当者 嵩	
日時	10月05日(月)PM6時30分~8時40分	講師 亀山, 石渡		通訳者 成川	
テーマ	読み取り「神聴協と理事について」	出席数	5名	欠席数	2名
ねらい					テープ 担当
	時間	学習内容及び指導方法	指導上の留意点		備考
	6:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 亀山さんのビデオ使用 7'15" 1. 生川 2. 一力 3. 真舘 4. 福田 5. 北村 6. 真舘 7. 福田 	日本語通りの手話なので, 口話をよく見るようにと説明		
		<ul style="list-style-type: none"> 亀山...単語として間違いや, 意味の取り違えているのをチェック 石渡...日本語として聞きづらいのをチェック 	通して読む		
		<ul style="list-style-type: none"> 組織図をコピーしたのを配って見てもらう。(2本目のテープを見やすくする為。資料として) 2本目のビデオテープの冒頭の組織に関する話をしている所(約1分)を各自テープに入れてもらう。 家に帰って再生してみて, 日本語として違和感がないか自分でチェックする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組織図を忘れた(亀山) ・ 時間が8時を過ぎていた ・ 受講生がカセットデッキをもって来ていなかった 		
	8:00	終了			
反省 評価	8:00 - 8:40 反省会				
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 欠席の時は, 前日, 連絡がつけば当日朝でもいいので, 担当者に連絡して欲しい。できるだけ平等に時間の配分をしたいと思っているが, 始まる直前に言われたら区切り直しは出来ない。 ・ 受講生に緊張感が薄れてきている。講師担当は大変な思いをして準備しているのだから, もう少しがんばって欲しい。 				
確認事項					

講座 15 実施報告

				担当者 原	
日時	10月19日(月)PM6時30分~8時45分	講師 山野, 成川		通訳者 柄沢	
テーマ	読み取り「ろうあ運動」	出席数	7名	欠席数	0名
ねらい					テープ 担当
	時間	学習内容及び指導方法	指導上の留意点	備考	
	6:45	<ul style="list-style-type: none"> ・ 渋谷さんのビデオ使用 3つに分割 (A) 7人一斉に読みとり, 各自テープに吹き込む。順次, ビデオを流しながらチェック 1. 真舘 2. 福田 3. 小寺 4. 北村 5. 生川 6. 永島 7. 一力 	日本語通りの手話なので, 口話をよく見るようにと説明		
		(B)(A)に同じ			
		(C)(A)に同じ			
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 岡井さんのビデオ使用 A,B ・ (A) 7人一斉に読み取り, 各自テープに吹き込む 3人のみチェック 1. 北村 2. 生川 3. 永島 	・		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ (B)(A)に同じ 4人のみチェック 1. 一力 2. 真舘 3. 福田 4. 小寺 	・		
	8:15	終了	・		
反省	8:15 - 8:45 反省会				
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読みとりは知識(情報)のある、なしで読みとれる量が違ってくる。 ・ 山野さんが事前にビデオの内容を把握して、当日のぞまれたが良く分かった。 ・ 口話も良く見るように。 				
確認事項					

講座 16

				担当者 蔵原	
日時	10月26日(月)PM6時30分~8時50分		講師 亀山、石渡		通訳者
テーマ	聞き取り「ろうあ運動」		出席数	5名	欠席数 2名
ねらい					テープ担当 長南
	時間	学習内容及び指導方法	指導上の留意点		備考
	6:30	野沢さんビデオ「民法第969条、改正運動の取り組みの経過と今後」 4'30" 収録 2人一度に ・福田、小寺 ・真館、生川 ・北村			
		これを一人ずつ再生しチェック			
	休息				
		チェックとアドバイス 長南			
	8:15	終了			
反省 評価	8:15 - 8:50 反省会				
	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉にこだわりすぎている。省けるものは省いた方が見やすい ・ビデオ撮りに一人5分くらいかかるので、早目にしたくをし、来た人から順に2台のビデオを使って二人同時に撮った。二人休みということもあり、なんとか時間内に収まった ・今一番話題になっている問題なので、受講生も見たり聞いたりしているはずだから、もう少し出来ても良かった ・伊勢原の鈴木さんの感想 <p>(a) 講師は、原稿を全部覚えてくる位であって欲しい。今からは聴障の講師も新しい手話や、日本語と勉強する必要がある</p> <p>(b) ビデオ撮りする前にチョットヒントを与えれば皆もやりやすいと思う(試験に向けての練習だから、受講生は望んでいない)</p> <p>(c) 通訳者は、事前に内容を知っているからうまく出来て当然だと思う</p>				
確認事項					

講座 17 実施報告

				担当者 蔵原	
日時	11月09日(月)PM6時45分~8時50分		講師 坂本、柄沢		通訳者 成川
テーマ	読み取り「今年のニュース」		出席数	7名	欠席数 0名
ねらい					テーブル担当
	時間	学習内容及び指導方法	指導上の留意点		備考
	6:45	(A)竹内さんのビデオを使用:「ワールドカップサッカー」の話 1.小寺 2.一力	2人まとめて解説とビデオを戻しながら読めなかったところのチェック		
		(B) 竹内さんのビデオを使用:「和歌山毒入りカレー事件」の話 1.福田 2.真館 3.生川	3人終わってから解説とビデオを戻しながらチェック。もう1回全員に声を出して読んでもらう		
		(C) 竹内さんのビデオを使用:「大リーグのホームラン争い」の話 1. 永島 2. 北村 2.	2人終わってから解説ビデオ戻してチェック		
		最後に全体を2回流して、各自に声を出してもらい質問を受けた			
	8:15	終了			
反省 評価	8:15-8:50 反省会				
	<ul style="list-style-type: none"> ・7人の中でレベルを見ると“まあまあ”という人は半分くらいだった ・手話の単語が普段のと違っているのがあって読み取りが難しかった ・手話が早かった口話を多用していた 				
確認事項					

講座 18 実施報告

				担当者 蔵原	
日時	11月16日(月)PM6時45分~8時45分	講師 橘川、長南		通訳者 柄沢	
テーマ	聞き取り「今年のニュース」	出席数	7名	欠席数	0名
ねらい					テープ 担当
	時間	学習内容及び指導方法	指導上の留意点		備考
	6:45	橘川さんビデオ「第34回全国障害者スポーツ大会」について(A,B) (A)を再度ひょうげん 生川 (B)の表現 福田	チェックとアドバイス 橘川		
		(B)を再度表現 一力 (A)、(B)の全体表現 小寺			
	休息				
	7:45	「介護保健制度」についてのビデオ(A,B) (A)の表現 真館 (B)の表現 北村 (A)、(B)全体 永島	チェックとアドバイス 長南		
	8:15	終了			
反省 評価	8:15 - 8:45				
	<ul style="list-style-type: none"> ・手話表現があいまい。特に指文字と数字ははっきり表現した方がよい ・表現がスムーズでない ・表情が全体的に足りない。もっと表情豊かに表現した方がよい。 				
確認事項					

講座 19

			担当者 桐生	
日時	11月23日(月)PM6時30分~8時50分	講師 原(和)、成川		通訳者 石渡
テーマ	読みとり「今年のニュース」	出席数	7名	欠席数 0名
ねらい	テーブル 担当			
	時間	学習内容及び指導方法	指導上の留意点	備考
	6:30	・ビデオ(管野さん) 流し読み 単語読み 日本語読み	A 福田 B 真館 A 一力 B 小寺 表現が早く繰り返しも多い。早さに惑わされない様注意したい。	
	7:00	原さん体験談(声止めて)	「海外旅行ツアー」	
		休憩		
	7:20	・ビデオ(森さん) 流し読み 単語読み 日本語読み	C 永島 D 北村 C 生川 D 真館 単語を一つ一つ拾いすぎると日本語になりづらい	
	7:50	原さん体験談(声止めて)	「野球部野球大会」	
		質疑:(管野)(森)皆で声出して読む		
	8:10	終了		
反省 評価	8:10 - 8:50 反省会			
	<ul style="list-style-type: none"> ・小寺さん、福田さんはだいたい読めていると思う。他の人達もだんだん読めるようになると思う(原) ・各々手話の癖があるので読みにくいかもしれない(原) ・全体的に皆ビデオでの読みとりに慣れてきたと思う 			
確認事項				

講座 20

				担当者 蔵原	
日時	11月30日(月)PM6時30分~8時45分		講師 亀山(宏)、長南		通訳者 石渡
テーマ	読みとり「今年のニュース」		出席数	7名	欠席数 0名
ねらい					テーブル担当
	時間	学習内容及び指導方法	指導上の留意点		備考
	6:30	・ビデオ(寺沢さん)半分流す(4'20") 読みとり 福田、生川			
		・ビデオ残り半分を流す 北村、小寺			
	7:15	休憩			
	7:20	・ビデオ(川口さん)を流す 読みとり 永島、一力			
	7:40	・ビデオ(渋谷氏)を流す 読みとり 真館			
	8:00	終了			
反省 評価	8:00 - 8:45				
	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオの手話が、早すぎた。もう少しゆっくりしたものがよい。 ・ビデオ3本は多すぎた。 ・来年度へ向けて、反省会を12月から月1回行う。 講座が始まるまでに、読み取り用のビデオを用意。 				
確認事項					

付録 1

「秦野市聴覚障害者協会手話通訳者（士）養成講座規約」

平成 9 年 4 月から、秦野市聴覚障害者協会と秦野市手話通訳者の共催で手話通訳者（士）養成講座を始めるにあたって、以下の内規を定めた。

秦野市聴覚障害者協会手話通訳者（士）養成講座規約

1. 名称

本講座は、「秦野市聴覚障害者協会手話通訳者（士）養成講座」と称する。

2. 目的

本講座の目的は、手話通訳者（士）の養成とする。

3. 事務所

本講座の事務所は、秦野市聴覚障害者協会の手話対策部部長宅に置く。

4. 受講資格

下記の（１）、（２）、（３）の条件を全て満たし、面接試験に合格した者

（１）手話通訳者（士）試験を受ける意志のある人

（２）秦野市聴覚障害者協会の賛助会員

（３）聾啞者と日常会話が不自由なくできるレベルであること

5. 受講料

本講座の受講料は毎月 5 0 0 円とする。

6. 開催

本講座は、毎月 2 回開催する。

7. 運営・企画

本講座は、秦野市聴覚障害者協会と手話通訳者が協力し、手話対策部部長が責任をもつて進める。

8. 運営費

本講座は、受講料により運営する。

9. その他

本規約は平成 9 年 4 月 1 日より施行する。

